



2021年(令和3年)6月号

中野区立江原小学校 学校便り

校長 根来 郁明 児童数512名

学校教育目標自立し、共に生き、平和を求める子
『かしこく』『やさしく』『たくましく』**『運動会』を通して育てたいこと****校長 根来 郁明**

5月29日(土)、運動会を開催しました。運動会の主役は、子どもたちです。一生懸命に演技する姿、心をついに演技する姿をたくさんご覧いただけたと思います。保護者の皆様は、ルールやマナーを守って、一生懸命応援してくださいました。また、PTA運動会ボランティアの皆様には、運動会の運営にご協力いただきました。皆様のおかげで、素晴らしい運動会を創り上げることができました。ご協力ありがとうございました。

1 挑戦する勇気を認める

『競技場に立つ人』 ただ批判するだけの人に価値はない。称賛に値するのは、実際に競技場に立ち、埃と汗と血にまみれながらも勇敢に戦う人である。

(セオドア＝ルーズベルト 第26代アメリカ合衆国大統領)

他人の批判をするだけでは、成果は得られません。実際に競技場に立たない人は、目標を達成することができません。勇気をもって一步を踏み出す、まずは行動することが大切です。

運動会は、走ることが得意な子も苦手な子も、踊ることが得意な子も苦手な子も、みんなで協力して、目標を達成することに価値があります。友達と励まし合いながら練習をする、苦手な子が練習しやすいように協力することが理想ですが、実際には、苦手な子が責められたり、練習したくないと悩んでいたりすることがないとも限りません。苦手な子たちの勇気ある挑戦を当たり前と考えずに、心の葛藤から生まれた勇気ある行動、勇気ある選択として受け止め、一人ひとりの挑戦する勇気が認められるクラスや学年であってほしいと思います。

2 自分に挑戦する

運動会は、子どもたちにとっても、保護者にとっても特別な行事です。運動会当日を楽しみにしていた方もたくさんいたと思います。運動会当日は、「〇〇で1位になる」「〇〇に勝つ」等、他人への挑戦を目標にすることが多くあります。他人への挑戦も時には必要ですが、自分を確実に成長させていくためには、自分自身の今の立ち位置をしっかりと把握し、「自分に挑戦」していく意識が必要だと考えています。

全校朝会では、「できるようにになりたい」という強い思いをもって行動すれば、どんなことでも必ずできるようになると伝えていきます。がんばったこと、努力したことは、必ずできるようになるとは言うものの、すぐにできることもあるし、いつまでもできなくて悔しい思いをすることがあります。他人を意識し過ぎるあまり、気持ちばかりあせってしまい、自分の立ち位置を見失ってしまうことがあります。どんな時でも、自分の可能性を信じて、一歩ずつ自分の目標に向かって挑戦していくことが大切です。子どもたちや先生方の表情を見ると、自分自身の成長を感じ、満足できる運動会になったのではないかと感じています。

運動会では、どの学年も、最後まで自分の力を出し切ることができました。特に6年生は、小学校生活最後の運動会に向け、学年一体となって一生懸命練習をしていました。保護者や地域の皆様のご協力をいただき、さらに成長した姿をお見せできるようにしていきます。